

2011年度 学校評価報告書 (大阪聖母女学院中学校・高等学校)

学校目標	きめ細やかな教育と指導で、建学の精神である「愛と奉仕と正義」に基づく全人教育に力を注ぎ、一人ひとりの人生を大切にすること
------	--

重点目標	1. 建学の精神に基づく特色ある教育の推進 2. 学力の向上と進路実績の伸長 3. 学校の情報発信力の強化
------	---

学 校 自 己 評 価		目 標	
番号	重点目標	具体的方策	取組の成果
1	建学の精神に基づく特色ある教育の推進	①学校行事の整備・充実により、学校の特色の明確化をはかる。 ②ボランティア活動の推進により「奉仕の精神」の定着をはかる。 ③「いのちの授業」を開始し、「心を育てる教育」を実践する。	①錬成会やクリスマス・セアンス（クリスマスの集い）、また創立記念ミサなどの宗教行事への取り組みを通じて、生徒の心の教育をすすめた。 ②東日本大震災に際して、生徒が自発的に募金活動を展開するなど、「愛と奉仕の精神」は生徒のなかに確実に育っている。 ③「いのちの授業」は中1、中2と高1を対象に実施し、生徒たち一人ひとりの心に大きく響いた。特に中2での授業は「がん啓発ソング」制作につながった。
2	学力の向上と進路実績の伸長	①3学期制・週6日制(土曜日授業)への移行に伴う授業時間数増加ならびに学期と定期考査の期間的一致による学習意欲向上をはかる。 ②「読書の時間」の創設により、「読む力」「考える力」を育てる。 ③中高6年間の進路指導計画を再構築し、生徒の意識向上をはかる。 ④(中学校)夏期休暇中の「自学自習教室」の創設により、学習意欲の向上と学習週間の定着をはかる。 ⑤(中学校)予習復習を含む宿題の強化により、家庭学習習慣の確立をはかる。 ⑥(高等学校)カリキュラムの見直しと教科会議の強化により、学力向上にむけたより効果的な学習指導を実践する。 ⑦(高等学校)聖母ゼミナールの充実により直接的に大学受験力の向上をはかる。	①学期と定期考査を期間的に一致させたことで、生徒の定期考査への取り組み意欲は向上した。土曜日授業の導入は、1週間の学習・生活習慣の形成に効果的であった。 ②「読書の時間」創設によって、ほぼ半数の生徒の読書量が増加した。 ③「進路指導計画」では特に高校で新しい企画を導入し、一定の効果があった。 ④「自学自習教室」に参加した生徒には一定の効果が認められた。 ⑤宿題の強化には一定の効果があった。 ⑥カリキュラムの見直し、検討を行ったが、次年度への継続事項とした。 ⑦聖母ゼミナールの充実は進路実績の向上に大きな効果があった。
3	学校の情報発信力の強化	①懇談を通じて保護者との情報交換を密にし、学校と家庭との連携強化をはかる。 ②学級便り、学年便りを通じて生徒や学校の様子を保護者に発信する。 ③授業参観や各行事など、保護者に来校いただく機会を確保するとともに、情報を確実に発信する。 ④大学別入試説明会や分野別セミナーなどへの保護者の参加をよびかけることで、生徒と保護者の情報の共有化をはかる。 ⑤ホームページを通じて保護者、また一般の方々への情報を的確に発信する。	・保護者に対する情報発信では、行事などの発信については一定の評価が得られた。 ・懇談、参観、保護者参加型企画など、保護者が学校に来られる機会を増やすことによる連携の強化については、一定の成果が認められた。

学 校 関 係 者 評 価
学校関係者からの意見・要望・評価等
自己評価、生徒・保護者・教員へのアンケート結果等に基づき、以下の意見などが寄せられた。 ・大阪聖母女学院中学校・高等学校(以下「学校」と表記する)はカトリックの精神に基づいた教育を行っている。 ・学校のきまりや方針に納得している。 ・学校は「分野別セミナー」「大学別入試説明会」等、子どもの将来や生き方、進路について考える機会を十分設けている。 ・子どもの将来の進路・生き方・悩みごとについての相談に、教員は親身になって応えてくれている。 ・教員は熱心に授業をおこない、子どもの学びたい気持ちに応えている。 ・テストや宿題など、子どもが家庭での学習に取り組む際の課題が十分出されている。 ・各教科で実施している小テストや再テスト、補習等は学力の定着に役立っている。 ・3学期制への移行により、学期の区切りと学習の区切りが一致し、子どもの学習計画が立てやすくなった。 ・ほぼ2ヶ月に1度定期考査が実施されることで、子どもの学習の定着に効果があった。 ・土曜日授業の実施により、基本的な生活のリズムと学習のリズムを保ちやすくなった。 ・土曜日に実施している読書の時間は子どもの読書習慣を身につけるのに役立っている。 ・学校はタイ国際ボランティアや福祉施設でのボランティア等奉仕活動に参加する機会を設け、社会に貢献する心を育てている。 ・学校はネイティブによる英会話の授業や、フランスのNデゾワ校との交流、様々な語学・海外研修を通じて、子どもの国際感覚育成に努めている。 ・学校は子どもに言葉遣いや身だしなみ等、社会生活に必要なマナーを教えている。 ・子どもは、体育祭や音楽祭・文化祭等の学校行事やクラブ活動を通して、リーダーシップと協調性を育み成長している。 ・子どもの学校生活は楽しく充実している。 ・学校は開かれた学校づくりへ向けて適切な情報公開を行っている。 ・学校は施設設備の安全管理・不審者の侵入防止等、子どもたちが安全で安心な学校生活を送れるように努めている。 ・面談や学年会などを通じて、学校との意思疎通の機会が十分持っている。 ・子どもを大阪聖母女学院に入学させてよかった。